

第132回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金												
未	収	入	金	前	払	金	仮	払	消	費	税	建	物											
備				支	払	手	形	買	掛	金	前	受	金											
未	払	消	費	税	仮	受	消	費	税	修	繕	引	当	金	備	品	減	価	償	却	累	計	額	
売				上			固	定	資	産	売	却	益	仕			入	減	価	償	却	費		
修	繕	費		発	送	費					支	払	手	数	料	租	税	公	課					
固	定	資	産	売	却	損																		
							固	定	資	産	除	却	損											

1. 当期首に、建物（取得原価：¥ 6,000,000、残存価額：¥ 600,000、耐用年数：10年、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）について修繕を行い、代金 ¥ 1,000,000 は小切手を振り出して支払った。なお、このうち ¥ 600,000 は建物の耐震機能を向上させる効果があるものと認められた。修繕引当金の残高は ¥ 300,000 である。
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. 武田商事株式会社は、決算にあたり、商品売買取引に係る消費税の納付額を計算し、これを確定した。なお、消費税の仮払分は ¥ 90,000、仮受分は ¥ 110,000 であり、消費税の記帳方法として税抜方式を採用している。
4. 高坂商店（年1回12月末決算）は、平成24年4月30日に備品を ¥ 350,000 で売却し、代金は翌月下旬に受け取ることにした。この備品は平成16年1月1日に購入したものであり（購入代価：¥ 1,000,000、据付費：¥ 200,000）、残存価額は取得原価の10%、耐用年数は12年、償却方法は定額法、記帳方法は間接法によって減価償却を行なっている。なお、当期首から売却時までの減価償却費は月割計算して計上する。
5. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)